



8/1 (土) Jazz & JazzDance

第19回ジャズイン浦添がてだこホールで開催されました。開演前のエントランスホールでは、寓話バンドの生演奏によって来場者を歓迎しました。本編前半では、知念嘉哉カルテット、上原昌栄スィングカルテットによるジャズスタンダードが演奏され、アコールド金管五重奏団によって「崖の上のポニョ」などの親しみやすい映画音楽が奏でられました。

また、本編後半には、OJAジャズオーケストラと浦添ゆいゆいキッズシアターのコラボレーションによるジャズと創作ダンスが披露され、観客は終始、魅力あるパフォーマンスを堪能しました。



浦添の親善大使として頑張ります！

今年のてだこレディを紹介します。

ホワイトリリー：佐々木彩音さん（左）
「浦添市をアピールするために日々成長して頑張っていきたいです」

ゴールデンカップ：儀間由貴乃さん（中央）
「浦添はハンドボールやてだこウォーク、ハーリーなどアクティブな行事があり、この活気がある浦添市を県内外にアピールしていきたいです」

サンフラワー：仲間麻美さん（右）
「市内外の様々な行事に参加し、多くの方と交流して素敵なたてだこのまちを伝えていきたいです」



8/19 (水) 浦添出身の生徒が全国制覇に貢献！

平成21年度全国高等学校総合体育大会（高校総体）ハンドボール競技において優勝した興南高校男子ハンドボール部が報告のため市長を訪問しました。14名の選手のうち、13名が市内中学校の出身です。部長の嘉数陽介さんは「監督、コーチを初め多くの皆さんのおかげでここまで来ることができました」と、語りました。

来年開催される高校総体において、本市はハンドボールと空手道の競技会場となっています。



8/5 (水) ハンドボール王国浦添の更なる発展へ

宮城小学校女子ハンドボールクラブが第22回全国小学生ハンドボール大会で準優勝し、その報告のため市長を訪問しました。キャプテンの平安山笑奈さんが「全国大会では準優勝でしたが、九州大会では優勝できて良かったです」と、述べたのに対し、市長は「皆さんは、県全体の誇りです。自分たちの活躍に誇りを感じて、ハンドボールの伝統を宮城小につくってください」と、激励しました。



8/15 (土) 平和の尊さ・命の尊さを考えてみよう

終戦記念日にあたる8月15日、本市の新たな平和事業として、平和を理解し希求する心を培い平和への啓蒙を目的とした「親子戦跡巡り」が実施され、市内の親子らが参加しました。ウラオソイ歴史ガイドの久高政治氏らの案内で、チヂフチャーガマ（牧港）、嘉数高台（宜野湾）、浦添城跡内の戦跡を巡り、激戦地となった当時の浦添の様子や平和・命の尊さを学びました。参加者からは、「住民がたくさん犠牲になり、戦争は繰り返してならないと痛感した」「浦添での戦争の内容を初めて知り勉強になった」「今日のことをきっかけに、子どもが平和について考え続けてほしい」と、感想がありました。また、この平和事業に合わせて、市役所市民ロビーで「千羽鶴展」、「沖縄戦パネル展」、「長崎・広島パネル展」、「中学生平和交流団研修報告」が行われました。



8/5 (水) あっはれ！ちいさな体で県大会優勝

平成21年度沖縄県少年少女空手道選手権大会の小学2年男子・形の部で、仲本虎次郎君（神森小）が見事優勝し、県代表として全国大会への出場を報告するため、家族や学校関係者と共に市長を訪問しました。

仲本君は「いろんな人から習ったことを全国大会で出していきたい」と、全国大会への意気込みを元気に語ってくれました。市長は「体調を整えて、全国大会でも頑張ってください」と、激励しました。



7/17～7/20 (金) 泉州市からのマスコット取材団

友好都市である中国福建省泉州市から「泉州市取材団」6名が本市を訪問しました。一行は、浦添てだこまつの取材のために訪れ、滞在中は、屋富祖大通りでの前夜祭や三大王統まつり、てだこ演舞まつり、ハーリー大会取材しました。団長である泉州市人民政府外事弁公室の倪景雲氏は「大勢の市民が参加していて、素晴らしいですね。たくさんのイベントがあり、感動しました」と、中国のまつりとは違う浦添てだこまつの雰囲気驚いた様子でした。